

2025年草の根育成助成 助成事業紹介

分野	文化及び芸術振興を目的とする事業
事業名	「未来を奏でる」～中高生と創る、子育て応援音楽事業～
団体名	NPO 法人アーティストグループ musia
実施場所	世田谷区 玉川区民会館「玉川せせらぎホール」
地域の課題	東京都世田谷区をはじめとする都市部では、核家族化や共働き世帯の増加により、子育て世帯が地域社会から孤立しやすい状況があります。また、若者が地域や文化に参画できる機会も限られており、SNS 中心の情報取得による価値観の偏りも指摘されています。こうした中で、子育て世帯が安心して文化に実体験で触れ、また若者が地域活動に主体的に関わることのできる「場づくり」が求められています。
事業紹介	世田谷区「子育てメッセ」期間にあわせ、2025年11月24日（月・祝）「アートな？音楽会 vol.4」を玉川せせらぎホールにて開催できることとなりました。テーマは「リズム」。プログラムでは、ジョプリンやドビュッシーの舞曲、サン=サーンス《動物の謝肉祭》、三善晃《わらべうた》、そして「クラッピング」による会場との即興演奏や、バーンスタイン《ウェスト・サイド・ストーリー》などを、フルート、ヴァイオリン、2台ピアノ、歌のアンサンブルなどで、多彩な作品と編成を通じ、「リズムの多様性」を体感いただきます。 本公演には、中高生が職業体験の一環として企画・広報・当日運営に参画し、また子育て支援団体とも連携することで、音楽を媒介に「世代を超えた交流」と「地域の支え合いの文化」を育んでいきます。中高生と音楽家が協働することで、若者の文化参画と職業体験を促します。あわせて、子育て支援団体のロビー展示等を設け、孤立しがちな子育て家庭と地域とのつながりを支援します。
担当者コメント	このたび、貴財団よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。芸術を通じて子育て世帯の孤立防止や若者の社会参画を促進し、「誰もが安心して子育てに夢を持てる社会」へとつながる本事業を実現できるのは、助成のお力添えがあつてこそです。営利性や収益性の観点からは実現が難しいクラシック音楽・現代音楽を中心とした文化事業を、地域に根差したかたちで開催し、次世代へと継承できることに深く感謝いたします。世田谷区から東京、そして社会全体へと広く発信し、地域文化の多様性を守り育む取り組みとして、その意義を一人でも多くの方に届けられるよう、精一杯取り組んでまいります。
団体紹介	「アーティストグループ musia 」は、2013年に音楽大学出身の演奏家らが集まり、音楽を軸とした芸術活動を通じて、日常に小さな潤いや変化をもたらすことを目的に結成されました。団体名「 musia 」は、「museum(博物館・美術館)」と「music(音楽)」を掛け合わせた造語で、古いものを大切に伝え、新しいものを積極的に発信するという理念を込めています。経済情勢や少子高齢化により芸術活動の継続が難しくなる中、福祉施設や保育施設での演奏活動、自主公演などを通じ、社会との接点を大切にした活動を行ってきました。2018年には、より広く信頼と支援を得て持続的に活動を展開するため、「特定非営利活動法人アーティストグループ musia 」として法人化しました。さらに2020年以降はコロナ禍を契機に、子どもと文化のかかわりにも注目し、創造性を育む文化体験の場づくりを推進しています。音楽を通じた、世代や地域を越えた交流と、次世代育成を両立させる文化活動を目指して活動しています。

写真2枚くらい貼ってください。

